

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.1
Q-1 室内環境							0.40		3.4
1 音環境									3.2
1.1 騒音							3.2	0.15	
1.1.1 1 暗騒音レベル							3.0	0.40	
2 設備騒音対策							3.0	1.00	
1.2 遮音							3.7	0.40	
1.2.1 1 開口部遮音性能					T-2相当の建具を使用		4.0	0.40	
2 界壁遮音性能							3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					スラブ厚t150+木質床張り床		4.0	0.15	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					スラブ厚t150+木質床張り床		4.0	0.15	
1.3 吸音							3.0	0.20	
2 温熱環境							3.0	0.35	3.0
2.1 室温制御							3.8	0.50	
1 室温設定							3.0	0.60	
2 輻射変動・過渡制御性									
3 外皮性能					W		5.0	0.40	
4 ゾーン別制御性									
5 温度・湿度制御									
6 個別制御									
7 閉鎖外空調に対する配慮									
8 監視システム									
2.2 湿度制御							1.0	0.20	
2.3 空調方式							3.0	0.30	
3 光・視環境							3.5	0.25	3.5
3.1 昼光利用							4.2	0.30	
1 昼光率					昼光率の計算結果より昼光率2.5以上を確保している		5.0	0.60	
2 方位別開口									
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	
3.2 グレア対策							2.0	0.30	
1 透明部材のグレア									
2 昼光制御					W		2.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	
1 照度							3.0	1.00	
2 照度調整性									
3.4 照明制御							5.0	0.25	
職員室のリモコンで集中制御可能									
4 空気環境							4.2	0.25	4.2
4.1 発生源対策							5.0	0.50	
1 化学物質汚染					F☆☆☆☆の材料を積極的に使用している		5.0	1.00	
2 化学臭対策									
3 ダニ・カビ等									
4 レジオネラ対策									
4.2 換気							3.0	0.30	
1 換気量							3.0	0.33	
2 自然換気性能							3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.33	
4 給気計画									
4.3 運用管理							4.0	0.20	
1 CO ₂ の監視							3.0	0.50	
2 喫煙の制御					施設内・敷地内を全面禁煙としている		5.0	0.50	
Q-2 サービス性能								0.30	3.2
1 機能性							3.2	0.40	3.2
1.1 機能性・使いやすさ							4.0	0.60	
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画					視聴覚障がい者・車いす対応エレベーター、多目的便所を整備している		4.0	1.00	
1.2 心理性・快適性							2.0	0.40	
1 広さ感・景観							1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画							3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							3.4	0.31	3.4
2.1 耐震・免震							3.8	0.48	
1 耐震性					建築基準法で定められた耐震性の25%増の耐震性を確保している		4.0	0.80	
2 免震・制振性能							3.0	0.20	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.0	0.33	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		3.0	0.29	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12	
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	
2.3 適切な更新									
1 床・(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性							3.4	0.19	
1 空調・換気設備							3.0	0.20	
2 給排水・衛生設備					節水型器具を採用し、主要配管の系統分けを行っている。		4.0	0.20	
3 電気設備							3.0	0.20	
4 機械・配管支持方法					耐震安全性の分類 建築設備～乙類		3.0	0.20	
5 通信・情報設備					メタル回線・光回線どちらの通信手段でも対応可能としている。		4.0	0.20	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
3 対応性・更新性					3.1	0.29	-	-	3.1	
3.1 空間のゆとり				壁長さ比率0.2である	3.4	0.31	-	-		
1 階高のゆとり					3.0	0.60	-	-		
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	-	-		
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-		
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-			
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.6	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	評価する取組の内4/8ポイント	4.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5	
LR-1 エネルギー						0.40	-	-	4.3	
1 建物の熱負荷抑制	W			省エネ届書による	5.0	0.30	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					5.0	0.20	-	-	5.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				-	-	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S		ボイラーに木質ペレット燃料を採用	5.0	1.00	-	-		
3 設備システムの高効率化	W			温水流量制御による、ポンプインバーター運転他	4.0	0.30	-	-	4.0	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-		
LR-2 資源・マテリアル						0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6	
1.1 節水	W			節水型器具、便器を採用	4.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材					3.3	0.85	-	-	3.3	
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W			使用比率49%である MSDS等の確認による	3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				4.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料	W				5.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W				5.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-		
1 消火剤	W				4.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避				フロン・ハロン消火剤を使用していない	3.3	0.18	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W			躯体と仕上材の分別可能、内装材と設備が錯綜せず	5.0	0.18	-	-		
2 断熱材	W				4.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
3.0 3.3					3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.7	
1 大気汚染防止	W			木質バイオマス(ペレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0	0.15	-	-	4.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0	
2.1 騒音					3.0	0.50	-	-		
2.2 振動					-	-	-	-		
2.3 悪臭					3.0	0.50	-	-		
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-		
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.30	-	-	3.6	
6.1 雨水処理負荷抑制	W			地下浸透対策を敷地内で考慮(グラウンド含め)	5.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-		

LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分
		6,063 m2	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの高効率化	4.0	-	-	-	4
3.2	換気設備					-
3.3	照明設備					-
3.4	給湯設備					-
3.5	昇降機設備					-